

はじめに

このたび、隔年にて発行している聖心女子大学グローバル共生研究所・研究紀要『グローバル共生』第3号を皆様にお届けいたします。

研究所のある聖心女子大学4号館グローバルプラザには、展示・ワークショップスペースであるBE*hiveがあり、グローバル共生に関わる展示とワークショップを行っています。

2021年5月～2023年4月には、「いま、『女性』はどう生きるかーキャリア、結婚、装い、命ー」と題する展示を以下の4期にわたり開催しました。

第Ⅰ期：「自分に力をつけて社会を変えようー女性のキャリアとライフコース」

第Ⅱ期：「『児童婚』は遠い国の話？ー“結婚”から女性の地位について考える」

第Ⅲ期：「美は束縛かー纏足・コルセットの歴史と#KuToo運動ー」

第Ⅳ期：「世界から『命の誕生』を考えるーひとりひとりが選択できる社会へー」

今回の展示では、コロナ禍で来場できない方のために、ウェブ展示を充実させました。また、バーチャルツアーでも見学できるように工夫を進めた結果、大変多くの方々に展示をご覧になっていただくことができました。

この第3号では、これらの展示内容を中心に、「女性」に関する諸課題を特集しております。

さて、本学第6代学長 Sr. 山縣喜代は、現代社会における女子校の存在意義と使命について、次の5つにまとめています（山縣喜代「女子校は時代遅れかー現代社会における女子校の存在意義と使命ー」カトリック女子教育研究第13号、2006）。

- 1) 女性についての研究
- 2) ジェンダー・バランスの取れたカリキュラムや教授法の開発
- 3) 「いのち」に対する感性を覚醒させる教育
- 4) 「いのち」が大切にされていると実感できる教育
- 5) 平和な社会づくりに寄与する卒業生の輩出

さらに、より良い社会づくりのための使命について次のようにまとめています。

- ・未だ男女平等でない社会の変革
- ・女性の視点を生かしたパラダイムの転換
- ・対等な男女の相互作用からくる奥行きのあるものの見方
- ・命を宿す性としての感性を生かした、いのちが大切にされる社会づくり
- ・低開発地域等における女性たちとの連帯を通しての平等な社会づくり

本紀要が、そして聖心女子大学グローバル共生研究所の活動が、これらの実現にも寄与するものであることを願っております。

最後になりましたが、本研究紀要の編集・発行にご協力賜りました皆様に心よりお礼申し上げます。

聖心女子大学グローバル共生研究所所長

植田誠治

聖心女子大学 グローバル共生研究所

聖心女子大学の教育理念に基づき、グローバル共生を実践するための教育と研究、そして社会活動を目的に、2017年4月に設立されました。

当研究所は、地球規模の課題に関わる研究を行うことに加え、市民団体などと連携し、地域や社会に向けたさまざまな講座やイベントを開催しています。また、グローバル化の時代に必要な学びの場として、BE*hive（展示+ワークショップ）の企画運営や大学授業科目「グローバル共生基礎／研究／演習」を開講しています。

聖心グローバルプラザを訪れる人々が「良質な問い」に出会い、セミナーやワークショップで互いの声に気づき共有し、課題解決に向けた活動につなげていくことを本研究所は願っています。